

歴代の学長

東京医科歯科大学の歴史がスタートしたのは、1928年。
その長い歴史の中で数多くの優秀な人材を輩出し、
トップレベルの教育・研究機関として日本の医学・歯学の世界をリードしてきました。



初代校長

島峰 徹先生

Professor Toru Shimamine

1928 (昭和3)年10月13日～
1945 (昭和20)年2月9日

1905年東京帝国大学医科大学卒業。専門は歯科学。東京高等歯科医学校(東京医科歯科大学の前身)の創立者。1907年よりドイツ・ベルリン大学、プレスラウ大学に8年間留学。1915年医術開業試験附属病院歯科医長、1928年東京高等歯科医学校校長、1944年東京医学歯学専門学校校長となり医学科を設置。1930年ドイツ・プレスラウ大学より名誉歯学博士の学位を授与。



2代校長・初代学長

長尾 優先生

Professor Masaru Nagao

1945 (昭和20)年2月10日～
1961 (昭和36)年6月30日

1913年東京帝国大学医科大学卒業。専門は歯科補綴学。島峰徹先生のもとで東京高等歯科医学校の設立に貢献。島峰先生に次いで東京医学歯学専門学校校長。戦後、歯科専門学校の大学昇格設立に尽力。1946年東京医科歯科大学の初代学長となる。日本歯科医学会初代会長。歯科材料に造詣が深く、我が国初の歯科材料研究所(現・生体材料工学研究所)の設立に寄与した。



2代学長

岡田 正弘先生

Professor Masahiro Okada

1961 (昭和36)年7月1日～
1968 (昭和43)年2月29日

1925年東京帝国大学医学部卒業。専門は薬理学。1959年に「硬組織の生理と薬理の研究」で第49回日本学士院賞受賞。学生にとっても人気があり、森鷗外の研究、エッセイストとしても知られ著書に『忙裡雑筆集』がある。1965年、教養部を設置。



3代学長

太田 敬三先生

Professor Keizo Ota

1968 (昭和43)年3月1日～
1969 (昭和44)年10月8日

1926年東京帝国大学医学部卒業。専門は小児科。1949年6月より初代東京医学歯学専門学校附属医院国府台分院長。1956年4月より医学部附属病院院長。1968年学長に就任。同年5月、大学紛争のさなか医学部長室および医学部附属病院外来が封鎖されるが、10月に解除・全面的に授業が再開された。



4代学長

清水 文彦先生

Professor Fumihiko Shimizu

1969 (昭和44)年10月9日～
1974 (昭和49)年9月17日

1932年東京帝国大学医学部卒業。専門は細菌学。1961年7月より医学部長。宮本璋、北博正両教授とともに医学部附属衛生検査技師学校の設置を立案し、1962年4月初代学長を併任。1963年4月医学部附属遺伝病研究施設長を併任。1973年、医学部の7研究施設を改組し、「難治疾患の克服」を標榜する国内唯一の国立大学附置研究所である難治疾患研究所を設置。



5代学長

勝木 保次先生

Professor Yasuji Katsuki

1974 (昭和49)年9月18日～
1977 (昭和52)年7月31日

1931年東京帝国大学医学部卒業。専門は生理学。1949年東京医科歯科大学教授、1974年学長に就任。1975年、医学部附属病院に分娩部、歯学部附属病院に検査部を設置。聴覚生理学の研究が高い評価を受け、朝日文化賞(1962年)、第53回日本学士院賞(1963年)、文化勲章(1973年)および勲一等瑞宝章(1979年)を授与された。



6代学長

吉田 久先生

Professor Hisashi Yoshida

1977 (昭和52)年8月1日～
1985 (昭和60)年7月31日

1941年東京帝国大学医学部卒業。専門は小児科。信州大学教授を経て、1968年9月太田敬三前教授の後を引き継ぎ、本学小児科学教室教授に就任。1977年8月学長に就任。1978年6月14日、創立50周年を記念し、シンボルマークを制定。本学の発展の歴史とその将来のあるべき姿を、本学の所在地である湯島にちなんで、湯島天神「学問の神」の象徴である梅の花になぞらえて図案化した。



7代学長

加納 六郎先生

Professor Rokuro Kano

1985 (昭和60)年8月1日～
1991 (平成3)年7月31日

1945年千葉医科大学医学部卒業。専門は公衆衛生学および医動物学。1957年公衆衛生学教室教授に昇任。1963年医動物学教室の設置とともに初代教授となる。1977年8月より医学部長。1985年8月学長に就任。1989年、国立大学で初めての4年制の医学部保健衛生学科を設置。



8代学長

山本 肇先生

Professor Hajime Yamamoto

1991 (平成3)年8月1日～
1995 (平成7)年7月31日

1953年東京医科歯科大学歯学部卒業。専門は口腔病理学。初の本学出身学長。東北大学歯学部創設に尽力、東北大学教授、東北大学歯学部長を経て、1983年本学歯学部口腔病理学教授に就任。我が国歯科界におけるレーザー研究の草分けでありかつ第一人者。「レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究」で1993年に第83回日本学士院賞受賞。1993年大学院医学系研究科(保健衛生学専攻)を設置。



9代学長

鈴木 章夫先生

Professor Akio Suzuki

1995 (平成7)年8月1日～
2008 (平成20)年3月31日

1956年東京医科歯科大学医学部卒業。専門は心臓外科学。1960年米国にて自作の人工弁を用いて、重症弁膜症の患者の手術に人類史上初めて成功。1995年学長に就任。大学院医歯学総合研究科の設置をはじめとした大学院の重点化を推進。2004年の法人化の準備を進め、自律した運営形態で新たなスタートを切った。1996年日本医師会医学賞、1997年紫綬褒章を受章。2007年文化功労者に選出。



10代学長

大山 喬史先生

Professor Takashi Ohyama

2008 (平成20)年4月1日～
2014 (平成26)年3月31日

1966年東京医科歯科大学歯学部卒業。専門は歯科補綴学、スポーツ歯学。本学のミッションとして『知と癒しの匠を創造する』と制定。ガーナ、チリ、タイに海外拠点を設置。2011年度より「医歯学融合教育」によるカリキュラムを開始。大学の国際化と医科と歯科の連携を推進。2013年研究大学強化推進事業に採択された(全国で22機関)。



11代学長

吉澤 靖之先生

Professor Yasuyuki Yoshizawa

2014 (平成26)年4月1日～
2020 (令和2)年3月31日

1969年東京医科歯科大学医学部卒業。専門は呼吸器内科学。1998年医学部附属病院教授。2014年学長に就任。同年、スーパーグローバル大学創成支援事業(トップ型)に採択された(全国で13大学)。統合機構を設置するなど全学的に事業を推進する体制を構築。2020年、「Society5.0」時代の医歯学研究・医療・教育の核心に位置する全学のセンターとして、M&Dデータ科学センターの開設に尽力。



12代学長

田中 雄二郎先生

Professor Yujiro Tanaka

2020 (令和2)年4月1日～

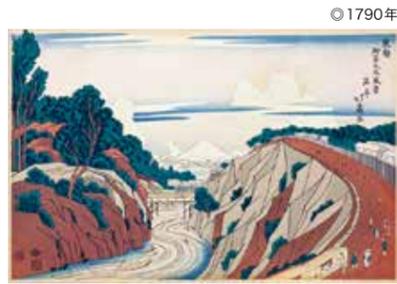
1980年東京医科歯科大学医学部卒業。専門は消化器内科学、医学教育学。2020年学長就任直後、新型コロナウイルス感染症への対応が課題となる。早期からコロナ患者を積極的に受け入れ、東京都をコロナによる医療崩壊から救うことに大きく貢献。同年10月指定国立大学法人の指定を受ける。2021年両附属病院を統合し、東京医科歯科大学病院とする。2022年、東京工業大学と統合に向けた協議を開始し、1法人1大学とすることに合意。

History

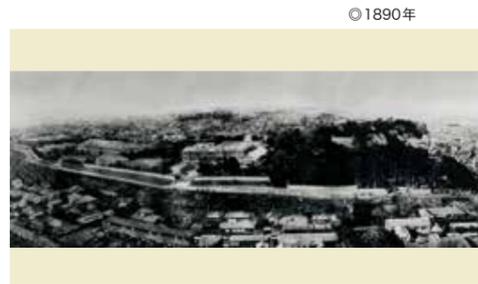
大学のあゆみ

始まりは、 1928年。

日本で初めて、国立の歯科医師養成機関として、本学の前身である東京高等歯科医学校が創立され、その長い歴史の中で数多くの優秀な人材を輩出し、トップレベルの教育・研究機関として日本の医学・歯学の世界をリードしてきました。



◎1790年
東都御茶之水風景 (昇亭北寿)
昇亭北寿の万世橋付近から見たお茶の水方面の風景。本学が位置する場所 (右手) には1790年から江戸幕府によって昌平坂学問所が置かれていた。



◎1890年
湯島地区
建設中のニコライ堂から撮影した湯島地区全景。中央が東京高等師範学校、左が東京女子高等師範学校。これらの跡地が現在の湯島キャンパスとなった。



◎1930年
東京高等歯科医学校第一附属病院
官立歯科医学教育機関の必要性が歯科医師により早くから認識されていた背景も後押し、「学問と教育の聖地である湯島」に東京高等歯科医学校が設立された。



◎1935年
東京医科歯科大学本館 (現2号館)
聖橋から見た本館 (現・2号館の旧築部分)。1934年に基礎工事が始まり、翌年7月に新営工事が竣工。



◎1982年
歯学部附属病院 歯科新棟
1982年、歯学部附属病院の歯科新棟 (写真中央の高い建物) が竣工。以降、歯学部附属病院では、障害者歯科治療部、高齢者歯科治療部など患者のニーズに対応した治療部門を相次いで設置。

1928

1928年10月12日	東京高等歯科医学校を設置
1930年12月	東京高等歯科医学校湯島 (東京女子高等師範学校跡地) に移転
1944年4月	東京医学歯学専門学校となり医学科を設置
1946年8月	東京医科歯科大学 (旧制) 設置 附属図書館を設置
1949年6月	医学部、歯学部附属病院が医学部、歯学部附属病院とそれぞれ改称
1950年4月	医学部附属厚生女学部設置 (1951.4 医学部附属看護学校と改称、1989.4 医学部保健衛生学科看護学専攻に改組)
1951年4月	国立学校設置法により東京医科歯科大学 (新制) 設置 医学部医学科、歯学部歯学科を設置 歯科材料研究所を附置 (1966.4 医用器材研究所に改称、1999.4 生体材料工学研究所に改組) 歯学部附属歯科衛生士学校を設置 (2004.4 歯学部口腔保健学科に改組、2011.4 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻に改組)
1952年4月	歯学部附属歯科技工士学校を設置 (2011.4 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻に改組)
1955年4月	大学院 (医学研究科・歯学研究科) を設置 医学および歯学進学課程を設置 (1955.4~1958.3 千葉大学文理学部内、1958.4 ~1965.3 国府台分校、1965.4 教養部となる)

1962

1962年4月	医学部附属衛生検査技師学校を設置 (1972.4 医学部附属臨床検査技師学校に改組、1989.4 医学部保健衛生学科検査技術学専攻に改組)
1973年9月	難治疾患研究所を設置
1989年4月	医学部保健衛生学科 (看護学専攻・検査技術学専攻) を設置
1993年4月	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称 大学院医学系研究科 (保健衛生学専攻) を設置
1999年4月	大学院医歯学総合研究科を設置
2000年4月	大学院医学系研究科 (保健衛生学専攻) を大学院保健衛生学研究科に改称
2001年4月	大学院医歯学総合研究科医歯科学専攻 (修士課程) を設置
2003年4月	大学院生命情報科学教育部を設置 (2012.4 大学院医歯学総合研究科に統合) 大学院疾患生命科学研究部を設置 (2012.3 廃止)
2004年4月	国立大学法人 東京医科歯科大学設置 歯学部口腔保健学科を設置
2013年4月	学生支援・保健管理機構を設置



◎1939年
細菌学講義
東京高等歯科医学校で教壇に立つ島峰徹校長。島峰先生はドイツ留学で臨床歯科医学とともに細菌学を学んだ。



◎1941年
足踏みエンジンを用いたファントーム実習
歯の模型をマネキンに装着して治療技術の修練を行うファントーム実習は、長尾優学長が導入した。



◎1943年
歯科矯正学講義
専任のドイツ人講師を招へいし、ドイツ語による講義も多く行った。学生たちは辞書を片手に必死の思いで授業を受けていた。



◎1949年
旧制東京医科歯科大学の教職員
前右から2番目が長尾優学長、後右から3番目が菊川武雄初代事務局長。1949年5月には新制大学として発足。



◎1953年
医学部附属看護学校 戴帽式
入学学科期間 (6カ月) が無事終了し、看護学生としての適性が認められた結果として戴帽式が行われた。



◎1955年
歯学部附属歯科衛生士学校の実習
歯科衛生士の主要業務であるスクレーラーの操作と患者との位置関係を身につけるために必須の技術訓練。

History

大学のあゆみ

©1991年



医学部附属病院 医科新棟 (A棟)

1991年、医科新棟 (A棟) が竣工 (写真左) し、1996年には医科新棟 (B棟) が竣工。診療科の垣根を越えた連携を行いながら診療にあたった。

©2009年



M&Dタワーが完成

2009年に26階建てのM&Dタワーが完成した。研究分野の枠組みを超えた基礎・臨床の融合、医学・歯学の連携やオープンラボで活用されている。

©2023年



C棟完成

ERセンター、手術室、集中治療室 (ICU)、医療器材、医療情報システムなど、病院の機能を強化するための施設として使われている。

2013

2013年10月	リサーチ・ユニバーシティ推進機構を設置 (2023.3 廃止)
2014年10月	スポーツサイエンス機構を設置
2016年3月	統合教育機構、統合国際機構を設置
2017年4月	統合研究機構、統合診療機構、統合情報機構を設置
2018年4月	統合大学改革推進機構を設置 (2020.4 統合改革機構に改組)
2018年5月	高等研究院を設置
2018年12月	オープンイノベーション機構を設置 (2023.3 オープンイノベーションセンターに改組)
2020年4月	M&Dデータ科学センター、統合イノベーション推進機構を設置 (2023.3 統合イノベーション機構に改組)
2020年10月	指定国立大学法人に指定
2021年10月	医学部附属病院と歯学部附属病院が一体化し、東京医科歯科大学病院になる
2022年10月	国立大学法人東京工業大学との統合に向けた基本合意書を締結
2023年11月	TMDU感染症センターを設置

©1989年



国立大学初の4年制保健衛生学科設置

パイオニアとして、看護学および検査技術学というそれぞれの専門分野の発展を牽引する大きな役割を担う。

©2011年



医歯学融合教育

2011年4月から医歯学融合教育を開始。写真は、ハーバード大学臨床実習に参加した学生による報告会の様子。

©2022年



統合に向けた基本合意書締結

2022年10月14日、両大学の伝統と先進性を活かしながら、これまでどの大学もなし得なかった新しい大学の在り方を創出することを目的に、統合に向けた基本合意書を締結。